（二日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

好間十好會

（俳句其ノ六）

題「合歡」五句

小守吹に鮒釣る岩や合歡の花　喜山
郎合歡の花つやけき石の面　同
合歡の花日にうとうとと繋き馬　同
壺使ふ山根の畑や合歡の花　同
合歡の花に雨冷えて降り續きけり　同

大いなる幹の洞口や合歡の花　向岑
合歡の花雨にこぼれし草を刈る　同
合歡の花雜木の中の彼方にも　同
草にある小さき墓石や合歡の花　同
句作人まだ立ち去らず合歡の花　同
濡れ色が溢へてねむの夜明かな　亞鄉
合歡の花よく爪冷しる溺井哉　同

合歡の花に靜けき朝の風が押す　同
合歡の花草の明るき雨後の照り　同
合歡の花崖の下なる水青し　同
木魚の音もれけり合歡の花　青州
晝日の山濃く淡く合歡の花　同
山合歡や入日まばゆきチヤンピング　同
山合歡に草刈馬つながれつ　同

斷崖に仰ぐ枝垂の合歡の花　同
築守の黒き額や合歡の花　撫山
大合歡の下に漁る男の子どち　同
合歡の花雨靄せまる淺の口　同
崖添や合歡の下なる芋畑ケ　同
堤干す程の早ぞ合歡の花　同

脫黨の聲明書（二）

小寺謙吉

二　床次氏脫黨の遠因

凡その事の起るや起るべき日に起るに非ず、必らずや茲に至れる素因が無ければならぬ。床次氏今回の擧に出でし眞相を識らむと欲せば昨年六月民政黨創立前後に遡つて考へる必要がある。當時民政黨創立に際して二個の潮流があつた。二個潮流とは何ぞや、その一は新政黨樹立は今や時運の要求する處、須らく廣く天下の人材を網羅して根本的新政策を樹立し以て國家民衆の希求に副ふ底のものでなければならぬといふのである。その二はこれに反して專ら政權爭奪に中心を置き、これに加ふるに一部黨內野心家の勢力の擴張に腐心するあり罪に一時の糊塗するに急にして、僅かに憲本の合同を以てお茶を濁さんとするもの即ち之れであつた。然り而して前者は舊進步黨系並に床次氏等の一派であり、後者は舊中央俱樂部系の安達氏等一派並に故加藤伯の恩顧を受け、江木、町田氏等一派の所謂舊官僚連であつた。

斯の如き情勢の下に舊進步黨系並に床次氏等一派は新黨の主張の貫徹に努力したのであつたが。如何せん新合同の實際の衝に當りしものは大部分は安達氏等一派乃至故加藤伯派の勢力によりて占領せられたるのみならず、現に創立委員の指名の如きは舊進步黨系を飽迄嫉忌排斥して是れに關與せしめず、遂に吾等の主張は遺憾ながら實現を見ること能はず遂に若槻濱口、安達、江木、町田氏等の專斷に依つて合同の實現を餘儀なくせしめられた。

彼等の所謂新政黨なるものは斯る經緯の下に兎も角も出來上つた。正論は虐げられて非違は容れられた。論より證據、世論は「新政黨に非ずして單なる憲本の馴れ合ひ也」と冷笑し其渾然融和を缺ける宛として水油啻ならざる民政黨の前途益々多事なるべきを豫め諷示した。惟ふに民政黨に於ける禍根は既に業に此時に胚胎したのであつた。換言すれば國家國民本位に立脚して國策經綸を行ふが夫れとも單なる政黨の假面を被ぶりて一部野心家の私黨朋黨本位に終始せんとするか問題は實に茲に在る而して民政黨成立以來其爲す處や果して如何、思ふて茲に到らば床次氏が這般の擧措に出でざるを得ざる所以のもの又故なしとせず。

三　床次氏脫黨の近因

昨年六月一日民政黨の結黨に當り、若槻氏は濱口氏を新總裁に推し、床次氏は其下に顧問となつた。抑も物の順序からいへば若槻氏既に妥協政治の繰返しにより著しく國民の不信を招き一世の指彈を受けし以上は、氏に代ふるに第二次加藤內閣唯一の支持者であつた床次氏を以てすること、に正に妥當の措置と謂はねばならぬ。現に此の事は加藤內閣時代、加藤伯自ら「次床君の我黨內閣に對する支持援助の勢は寡に感謝に堪へぬ。而して內閣が若干成績の見るべきものあらんも之れ一に床次君の力に負ふ處多大とある。故に次、機會にはどうしても床次內閣の實現に盡力せねばならぬ。又若し萬一憲本合同成るの曉に於ては機會を見て自分は總裁に床次君を推薦する積りである」云々と言明してゐた事實があり予も亦大正十五年一月九日加藤伯の招致に接し伯と親しく對議會策につき論議したる際、予は黨の前途に就き伯の意見を訊したるに伯は前同樣の意見で、將來の新總裁は床次氏を以てする外黨內には黨首たるべき人物のなきことを繰返へされた。故に濱口氏の如きは其閲歷、貫祿よりするも將又加藤伯と床次氏との關係よりするも先ず床次氏を總裁に推薦するのが當面の仕儀であるに相違ない。然るに閥族を有たぬ自己中心本位の安達、江木、町田氏等の一派は濱口氏を以て何事か財閥の後援あるものの如く宣傳し、遮二無二濱口氏を總裁に擔ぎ上げたのであつた。而して床次氏を有名無實の顧問に祭り込んだそれ許りではない民政黨の幹部を安達、江木、町田氏等の一派の手に獨占して了まつた。

※明日の吉凶※　新曆十月三日　舊曆八月二十日

▲一白　急速なる發展を望むときは却て蹉跌すべし▲二黑　隆運の[illegible]にして何事にもよし但し口舌注意▲三碧　奇利は無くとも尋常に働けば相當の伸びあり▲四綠　人の力をからず熱心に働き己が分限を以てはげめ▲五黄　乏しきも一時のこと働けば大に裕かなるべし▲六白　飲食と進退とを愼み中を守りかたよらざるが吉▲七赤　抗すれば抗するは逆運に見舞はるべき日▲八白　實力を以てすることは難事と見へても享▲九紫　目前の小利におせらず永遠の志を立てるによし

講談　幕末秘帖　狂怒亂心（56）

渡邊默禪作　宮野歌春畫

妹娘お雪を神保家へ奉公させたのも此のお萬の發議にもとづいたので今の中堅い屋敷へ上げて行儀作法を見習はせなければお嫁になつてから苦勞の種、何でもしつけは人中にもまさるものは[illegible]ます。この家に[illegible]あつた。こうしてお雪は雪江と云ふ名で二年以來の奥勤めをしてゐたのだ。

手許に殘つた總領息子勘太郎は今年二十二であるが、根がりそうな青年も、怖物なしの坊ちやま育ち大甘に捨へ上げられたのが墮落の原因で、一年も前から惡所通ひの味を覺え、家を外に遊び出した。是には虫がついてゐた、誘惑があつた。參謀があて煽て上げ申したのである。

その參謀官こそ番頭の富松であることを心注かぬ勘兵衛夫婦は、種々の足止策も失敗に歸した苦し紛れ、富松に何とか工夫があるまいかと相談に及んだ。ホッと有りますとも二ツ返辭の下から富松は左の如き名案を提供した。

元來藝者狂ひや女郎買ぐらゐ不經濟なものはない。使つた金が本人の懷中にでも還入るのなら未だ幾らかの功德にもなるが殘らず周圍に散つて了つて他人の肥料になるばかりである、其處に行くと地ものに限る、素人は金にこだはらぬ、情深い。慾が無くつて實がある。同じ道樂なら地味一點張に行きたい、ボコツ買などと皮肉る奴は、金魚の刺身を食へるものと心得て總菜の味をないがしろにする莫迦者である。依つて考ふるに是は然るべき女を見立てゝ近くに圍はせ、若旦那の虫抑へをするのが上分別、さすれば自然色里へ遠ざかり魂に錨がついて沈着くであらう。第一費錢は少なし、惡い病に[illegible]る心配は無し、[illegible]立たず一擧三得、[illegible]となしてある。若しも厄介なかすがひが出來たなら金を附げて里子に遣ればたゝりは來ず其女が鼻についたとなれば去狀の手數もなく足下就出してうへば濟む。それにはお形好な恰ど誂へ向きといふ娘を一人此の富松がとくに屆出して置きました。お異存がなければ右から左に取極めるのも譯のないこと但し最初だけが多少の御散財、それを御承知の上で。

といふのがいかにも夫婦の氣に入つた。經濟論を基礎にして色情哲學の奥義を說く此奴なかなかの曲者である。その曲者の肚に一物があるとは知らず、そんなことで伜の放蕩が止るなら此上もない幸福、何程の入費せ厭ひはせぬ、直さま取計つて呉れ、と勘兵衛の聲が懸るや否、各點だとばかり富松は例の虎の許へ駆け附けた。

た虎婆さんは永年藤屋へ出入してゐた。伜が仕立屋なので店の裁縫を受負つてゐる其の關係からでもあるが、一つは地所や家作を擔保に金を貸付ける其の周旋をする爲で、そんなことから勘兵衛夫婦にもひいきされ、就中支配人の富松とは格別に親しかつた。富松はお虎のお蔭で主人へないしのコンミッションに有附くこと恰も銀行の重役に於けるが如くである。

廣告

高久病院　平町田町　電話五一三番

赤心堂病院　平町田町　電話四七五番

好機再び來らず!!
今直ぐ御需めあれ!!!
好評復た好評!!い組三百本
ろ組三百本既に賣れ
切れ殘るは　は組三百本
のみ
幸運は果して誰れに
今直ぐ御需めあれ!!!

三百本一組景品ノ內容

壹等	貳等	參等	四等	五等
十八金厚側西瑞製拾石入アンクル十形腕卷時計	クローム側拾形西瑞製十石入アンクル腕時計	最新式置時計	舶來二ツ折レシース	弊店名入手拭
三個	五個	拾五個	三十五個	殘全部

本特賣抽籤ニハ全部空籤ナシ

特賣期間　自昭和三年九月一日　至昭和三年拾月卅一日　滿二ヶ月間
抽籤場所　公會堂
抽籤方法　在平新聞記者立會嚴正施行ス
抽籤發表　御即位式當日當籤者各位ニ通知ス
景品引換　抽籤發表一ヶ月以內トス

御大典記念景品附特賣
コサツク萬年筆記念名入
壹號　特價　金貳圓也
貳號　特價　金貳圓四十錢也
參號　特價　金貳圓八十錢也
其他各種
磐城平町
高倉天地堂

夜間診療
胃腸　十二指腸虫病　內科　專門　內科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平南町　松村病院　電話一〇七

ビクターレコード
販賣店　會田時計店　平町四丁目（電話三六三番）
レコードハ此のマーク!を
店員募集

新製品着荷御案內
優美典雅な御大典記念時計が種々着荷致ました記念として永久的な御贈答品に最も良く値段も三圓より拾圓位迄です御散步の折柄是非御立寄御覽を願上ます
院長敬白
大谷時計病院　電話一九番

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科　外科專門
平南町
上田外科醫院　電話一二九

▲染色力……確實
▲使用法……頗る簡便
▲價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇

大販賣店　平町五丁目角　山野邊藥局

胃腸藥　ホシ
健康第一　健康は胃腸から
クスリはホシ

疑へばこそ愛の絶縁状
夫は妻を―妻は夫を色眼鏡
◆―笑ひ得ざる喜劇一幕

植田町字本町雜貨商大野數郎方で去月中から頻りに現金其の他の貴重品が紛失するので妻あきは夫が遊興の爲めに持出すものと思ひ込み、一方夫は妻の所爲ではないかと疑つてゐた折柄昨一日午後五時頃夫が用事あつて外出した留守中

妻が 附近の錢湯に入浴して歸宅すると既に夫が歸宅して居り簞笥の中に入れて置いた現金四十五圓入りの蟇口がまた〳〵紛失してゐたので自分の留守中妻が取つたもの妻は自分が入浴中歸宅した夫が盜つたものと思ひ込み兩人の間に激しい夫婦喧嘩が開始され果ては極度に憤慨した數郎が貴樣みたいな泥棒は出て失せろとばかり三下り半を叩き付け近所の人々の仲裁も聞かず遂に夫婦別れの

一幕 とはなつたが一方平署の柴崎刑事が今二日午前一時頃平驛附近を密行中平驛待合室に一見十七八才の少年が徘徊してゐるのを發見擧動不審で本署に引致嚴重取調た處ろ此の少年は當時植田町字本町渡邊新三郎(假名(一七))で昨一日午後五時頃前記夫婦別れの悲曲を演んじた大野數郎方へ入り家人が不在を奇貨として裏口から忍入り現金四十五圓入り蟇口外

數點 の貴重品を窃取逃走して來たもので去月來屢々同家の留守中に忍入り窃盜を働らいてゐたものである事を自白御難の數郎夫婦が此れでどうやら泥棒の正体は分つたが三下り半の始末はどう付くやら近所の人々が監視中である

最近激増した
平町の空家
不景氣と家賃高から
皮肉極まる現象

平町の到るところに貸家札が見られる、景氣のよかつた頃には借家人が住宅を見つけるに少からざる苦勞をしたもんだがこの頃では何處と行つても空いた住家がごろ〳〵してゐる、それは古家ばかりではなく新らしい建家いはゆる文化住宅なるものも隨分と見受けられてゐる之れは家賃は數の過剩に比例して低落せずに相かはらずの比率で當然家賃の低落を來さねばならぬのがそれが依然として一疊當り一圓以上を保つて居るのは家屋税とか何とかいふ理由はあつてもその第一因は投資者の利廻り勘定から來たものと見るべき只この空家の內で一寸皮肉の感じを與へるものは今樣式の店舖が相並んで空家となつてゐることとでこれだけは投資者の見當外れとして一寸氣の毒やうにも思はれる然し之とても一時的の現象で今日の如き貸家札の不体裁はなくなるであらうそれにつけても家賃の比率を低下して當業者の利便をはかり以て相互共立の實をあぐる事は市繁昌の第一策ではないであらうかとの事である

研究講座
子供に見せたい本
ヒロスケ、ハマダ

現在の子供雜誌が興味中心にかたむきすぎて精神の糧となるべき要素が誠に乏しいのは少しく子供の讀物に注意してゐる人達の否定しがたい事實である、子供たちはお菓子をほしがる、然しそれをほしがるからとて欲しがるまゝに與へる親はない筈である、しかるにそれが讀物の場合になると以上の事實がたしかであるにもかゝはらず、それに就いては案外注意をはらつてゐない、子供たちが面白がつて讀むからとて探偵ものや怪奇もの、講談ものやチャンバラ物を放任式に讀ませておいては決して正しい教育ではない、それともう一つ、世間のいはゆる名士、學者の名前でもつて、良い子供になるにはかうしなくてはならぬあゝしなくてはならぬといふやうな文句が並べてあるのを見るがさういふ物の實際効果は疑はしい、勿論「しなくてはならぬ」主義も人格教育の一としてのこされてよいものではあるがそれが雜誌の紙面の上ではどれだけの効果があるか、要するにそれは雜誌編輯者の政策であらうさうでないとすれば考察が足らないのであるいやしくも子供雜誌の内容は、もつと爲めになる讀物でなくてはならない、そしてわたくしの意味する『爲めになるもの』とはいはゆる訓話の類ではなくよい童話である、よい童話とは作者自身の眞摯な觀察批判を基礎としてゐる童話であらう、しかるに現在の子供雜誌はさういふ童話を優待しない、子供たちが歡迎しないといふ理由をもつてむしろそれを冷遇してもつぱら迎合的な、別言すれば商品化の實のない作を採用する營利主義のおもむくところ、止むを得ないことではあるが然しながら良い童話はジアナリズムに押されつゝもまことの知己を持つと信ずる、その知己とは言ふまでもなく、子供のために良い讀物を選ぶところの先生たち、父兄母姉でなくてはならないそれらの諸君はよい童話とはどんなものかをよく御存じであらうと思ふが、しかし點檢してゆけば優良な童話は少いのである。童話といつてもお伽噺と名付けても今のところ本質上の區別ではなく一般的には昔話同義にしか解されてゐないけれども、お伽噺と呼ぶものにはたいてい系統がないともいへない、それらの作は大抵は翻案物と見なしてよい、それらの中にもすぐれたものはあるけれども、然しそれらの區別したいと思ふ、は現在創作童話で、なかんづく、小川未明氏の童話の如きは子供たちに是非讀ませたいそれ以外には日本古來の昔話と外國童話とあるのであるがそれらの再話翻譯良いものとして楠山正雄氏著作を擧げるが、おもふに再話翻譯の時代はすぎて、いまは整理時代であらう。種々として安價な翻案、翻譯本が氾出するが、それは結局有用の本ではあるまいこれから出てくる良い本は少數の童話作家の創作以外にあたらしい研究、あたらしい批判、あたらしい用意に更にあたらしい創意をへ加味して、日本傳來の昔話をも外國のものも書き直したもの、即ちあたらしい時代の子供に訴へるもの、與へるものゝ多いものでなくてはなるまい、それを思へば子供に對する童話の使命はこん後いよ〳〵重大である

鈴木氏歸平
過般來上京中

縣會議員鈴木辰三郎氏は過般上京滯在中の處一日午後七時平着にて歸平した

町の財源捻出に
町有土地競賣
來る八日平町役場で
平三校建設準備

平町役場では明年度から着工の筈である平町第三小學校の建設費に充當する爲め町有地中在記八ケ所を公賣に附する事となり來る八日正午から平町役場内に競賣入札を擧行する事となつた町有地の公賣地は次の如くである

△第一號平町才槌小路湯殿山下埋立地九十三坪第二號同六十三坪△第三號同六十三坪△同六十三坪△第四號同六十三坪△第五號同六十三坪△第六號同六十六坪△外に平町字十五町目磐城共濟病院筋向ひの空地一ケ所同町火の見櫓下空地一ケ所

全國中等學校劍道
磐中惜敗
川越中學に

第七回全國中等學校劍道優勝試合に磐城中學校から出場した柴野、高橋、高杉、折笠、石川の各選手は去る二十九日の正午十二時三十七分上野驛に着し各先輩歡迎裡に石城造士會に赴き明くれば三十日各選手は早朝より必勝を期し元氣旺盛午前八時愈々各校選手の試合ひ開始された、磐中では第二回戰に前年水戸高等學校で擧行された劍道試合に優勝した川越中學と花々しい大接戰を演じたが遂に六對五と云ふ點で惜しくも敗れ各選手は萬感胸にせまり今度水戸高等學校で行はれる優勝試合には必ずや優勝すると意氣込みしてゐる

石城郡下の小學生
力作千六百点
名物ジャンガラ念佛も
成作品の展覽會

石城郡下小學生の力作千六百點をあつむる成績品展覽會は昨一日迄に全部到着愈よ今明兩日平第一小學校講堂で審査官菅野縣視學外十名の審査員に七百餘點を嚴選される各校の出品は豫想の如く圖畫と書方が大部分を書方は概して山手方面に見る事なきも多く圖畫は一般都邑地の兒童にすぐれたものが多い次に少數ではあるが手藝品の中には本箱並に机及び粘土作りの田舍家其他意匠技に小學生としての冴えよりは大人の思ひもつかぬ趣向を見せ殊にふるつたものには石城名物ヂャンガラ念佛の一團や鐘や太鼓を打叩く姿巧に一枚の木盤に仕組まれたものなど郷土味たつぷりな作品の如きは曾てなかつた現れであると稱されてゐる

四大都市の
小學校競技
平校意氣込む

郡山市では縣下四大都市即ち福島、若松、郡山、平の四大小學校競技大會を催すべく目下準備を急いでゐるが開催期日は來る廿八日午前九時から郡山市で擧行尚平小學校では同大會に必勝を期して目下猛練習中である

鹿島の密林中から
突如三人組强盜
所持品全部を奪れたは
實は眞赤な嘘

平町字白銀町吉田新聞店の配達夫四倉町生れ渡邊二郎(一九)は去る廿八日午後七時三十分頃江名方面へ配達を終つて歸宅途中鹿島村地内の森林を通行中突然後方から覆面した三人組ノ怪漢が現はれ新聞代の受取證百餘枚外現金五錢入り蟇口一個等を強奪して姿を消したので眞つ蒼になつて平署に駈込み訴へ出た、平署では青田部長以下出動直ちに犯人の一大搜査を開始したが被害者二郎の申立てに不審な點がある上三人組の怪漢が現はれたと見るべき何物もない爲め今二日午前九時被害者二郎を召喚嚴重取調た右の訴ひは眞赤な僞りで二郎は當日新聞代を收金すべく領收證をもつて新聞店を出たが途中で領收證全部を紛失したので主人へ申譯のない爲め前記の如く虚僞の訴へを爲したものである事を自白した

始終伯仲の勢力
平と古河の庭球

昨報―古河炭礦對平クラブの庭球試合は昨一日午後二時から大内君審判の下に試合開始兩軍の實力伯仲して一大激戰を演じた試合結果は次の如くである

古河軍		平軍
荒川 松本	一―三	堀 馬目
大内 石川	一―三	同◎
高橋 佐處	三―一	山野邊 小松
◎同	三―一	三井 三井
富樫 猪狩	〇―三	樋口 鈴木
安齋 木田	二―三	同◎
石井 井上	三―二	松本 吉田
◎同	三―〇	近野 篠塚
小森山 矢野	一―三	大内 根本
優退戰		
高橋 佐藤	三―二	大内 根本
同	三―〇	堀 馬目

次いで決勝戰に入る筈であつたが平軍の大將大内、根本の敗退する以前から薄暮漸く迫り堀、馬目組のストレートで破れた頃は全くボールも見えない程度であつた爲め古河二組中一組の優退者を殘してドロンゲームを宣す

磐女校視察
郡南の父兄會が

石城郡植田錦山田三ケ町村では磐城高女通學者が近年漸次增加しつゝあるがため學校父兄間の聯絡機關として先年磐城高等女學校父兄會なるものを設け年々同校より關係教師數名を招き懇談會を開きつゝあつたが本年は教授の實況等を見聞するため三日會員一同々校に赴き視察の上種々意見の交換をなす筈であると

桐谷氏卒倒
昨夜突然路上で

元磐中校長桐谷文平氏は一日午後六時頃所用の爲め平通を通行中突然腦溢血を起し昏倒して田丸屋に收容手當中危篤の狀態にあるが同窓會長諸橋守治氏病氣休養中の爲め副會長酒井清氏等馳せつけ目下手當中であるが危篤

八圓臺を割る
石城の秋蠶好況

石城郡販賣利用組合四倉蠶市場は八月三十一日開場以來九月末日迄に一ケ月間に於ける秋繭取引總貫數は二萬千九百八貫餘で、其の金額十四萬七千九百圓を突破し石城郡地方は變態の天候に災されて桑園にも害虫が發生し其結果原種の掃立枚數が減じたが生繭高は最初の豫想を裏切り好成績である、同市場は十月十日までには總貫數二萬五千貫を突破するものと豫想されてゐるなほ取引相場も六圓臺と豫想されてゐたが漸次尻上がりとなり七圓臺となり殊に去月二十九日には八圓臺で取引された程であつた

傳染病新築
入札
六千圓で落札

平町役場では今春の傳染病大流行に依り字八幡小路の傳染病舍狹隘の爲め患者の收容難に陷り急造バラック病舍を增築して患者の收容に充てゝゐたが當時町會の議決にもとづき今年度の臨時事業として傳染病舍の增築をなす事になり昨一日午後一時から平町役場內工事の請負入札を施行したが價格超過の爲め同三時から再入札を擧行した結果金五千九百圓を以つて平町色川勝三郎氏に落札した尚直ちに着工遲くも十一月中までには增築工事完了の豫定であると

山中の賭博
賭網五名を逃す

赤井村大字高萩家前居赤井村大字高萩字家前居住平町字四丁目生れ瓣仲買商阿部良七(四二)は昨一日午後一時半頃から同村福島炭礦坑夫遠藤龜外六名と共に同村大字高萩地内の山林中で大車座となり現金賭の丁半賭博を開帳中警邏中の同村駐在所小林巡査に發見され遠藤外六名は逃走良七は現行犯として逮捕本署に引致の上鯨部補の嚴重な取調を受けたが逃走した六名の坑夫連も本日中に逮捕の見込である

御警衛
平署で嚴重
移動警察に主力

岩手縣下に於て擧行さるゝ陸軍大演習ゝ爲各宮家を始め大臣名士が續々常磐線經由にて盛岡方面に向ふ爲平警察署ではこれが警衛の爲同署管内沿線要所々々にはそれぞれ手配をなし萬一に備へる外腕利きの刑事を各列車に配置する等多忙を極めてゐるが今明日中には更に嚴重な手配をなし思想要視察人刑事要視察人其の他擧動不審と認むるものには片つ端しから檢束萬全を期する筈である

三郡博物學會
縣立

雙葉中學校教諭鳥羽田卓氏は今回博物學研究を目的とし濱三郡博物學會を組織すべく目下その準備中であるが地方の中小學校教員を會員にして自然科學の研究思想普及に關する研究を隨時發表することとである

民政演説會
平町外各所に

民政黨石城部會では永井柳太郎代議士を招聘し十一月二十五日から二十八日まで四日間平町を始めに四倉、植田、内郷の四ケ所に於いて倒閣演説會を開催する事となり比佐代議士が辯士の交渉を進めてゐるが、民政黨本部 動搖が地方まで波及すべくそれぞれての防備線を第一主要條件とし同時に明年の町村會議員選擧に於ける地盤の開拓をなすため此の演説會を開催するものと見られてゐる

入山と古河炭礦の
合同陸上競技
愈々今月末平町に開く
會長に下野所長

湯本町入山採炭株式會社ノ好間村古河炭礦の二大會社の相互從業員の親睦融和を計る目的で合同陸上大競技會を開くべく兩者間に折衝中の處既報の如くであるが會期は今月末、平町磐中グランドに開く筈で競技種目其他は近く發表の運びに至るらしいが同競技大會々長には古河鑛業所長下野平一朗氏を推戴した

平の米相場
平警察

署管内では十月一日よりメートル法により重量取引を行ふことになつたが三十日まで三十六錢の取引された上米は一キロに付き上米二十五錢、中米二十四錢並二十三錢、田粲三十錢、岡糯二十九錢となつた

第一區青年
聯合總會
七日植田町に

石城郡第一區植田方部二町六ケ村聯合青年團總會は七日午前九時半より植田小學校に開催午前は東北帝大教授中川善之助氏の講演午後は陸上競技會を催す筈で地元植田小學校では準備を急いでゐる

浪界三名人
九日平劇場で公演

東西浪界ノ未曾有の大顔合せとして全國の愛浪家より熱狂的歡迎を受けてゐる名人京山若丸、木村友衛、木村友三師の一行は突如來る十日一晩限り平町平劇場に於て公演に決定したが此現代浪界ノ三頭目合同は何れの地方にも先にも絕對になき稀有のことで平町地方愛浪家連の血を湧かしてゐる

魚市場創立
近く總會を開く

資本金十五萬圓をもつて平町に新設される事になつた中魚市場は加納五郎氏を發起人總代として株式募集も豫定通り終了を見たので十月五日迄に第一回拂込をなさしめ近く創立總會を開き直ちに業務著工する豫定であると

郡南方部の
教育會
補習教育協議

石城郡第一區教育會の補習教育振興協議は泉農業公民學校に於いて開催し が出席二十五校協議題等次の如し菊田實業學修學校長吉田正愛氏の「實習課程に就いて」なる研究發表及本縣實業補習教育主事泉山庶造氏の講演同村篤農家志賀澤之助氏ノ農業經營の實際視察談があつた

(一)協議題 一、現代思想の傾向に鑑み補習教育上特に留意すべき事項調査の件 二、昭和四年度生徒實習指導計畫を次回研究發表題に選定の件 三、次回當番學校及豫定期日選定の件 四、本郡内に實業補習教育研究會を設くるの件(菊田實業專習學校提出)

(二)建議題 一、本會に對し適當なる補助金交附方を福島縣教育石城部會長に建議すること

(三)談話題 一、補習學校の御大典記念として適切なる事項如何

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番